

令和4年度 社会とつながる文化芸術活動助成事業 埼玉県文化振興基金

### SMF「**アートの素・パントリー**」の**アート活動**について

令和4年11月27日(日) 13:00~16:00 北浦和ターミナルビル3階「カルタスホール第2・3会議室」

「アートの素・パントリー」とは、令和4年度の県助成「社会とつながる文化芸術活動助成事業」として行われた一連のアート活動です。個人や団体など各所に眠る未利用の画材や文房具、またアート表現につながりそうな素材を提供いただき、集まったものを「アートの素」と呼びます。

それらを活かして主に子どもたちを対象にしたワークショップを行い、楽しい創造の場と時間をつくります。そしてワークショップ後に残った素材は必要とする方々にお配りする、という企画です。

結実としてのワークショップは、2022年11月27日(日)に実施しました。

#### 「アートの素」について

収集した「アートの素」は、「画材」、「紙類」、「文房具」、「自然素材」、「手工芸素材」、「生活用品」に大きく分類し保管しました。

#### 「ワークショップ」について

2022年11月27日(日)、会場は北浦和ターミナルビル3階、「カルタスホール」会議室2と3で行いました。参加者は子ども21名、大人1名、保護者13名、アートの素マスター(アートに熟達した強者のこと)に8名、スタッフ5名、見学者1名でした。午前中は会場の準備と「アートの素」のセッティングを行いました。すでに集まっていた「アートの素」のほかにもマスターの持参した金属関係の素材やスチロールの厚い板なども配置しました。その傍らでマスターの人たちが「アートの素」を使って作品を手際よく制作。予め作品を制作し持参したマスターもいました。

ワークショップは13:00からスタート! まずは「アートの素・パントリー」活動と「アートの素」について加藤から説明があり、これらの素材は多くの方々のご厚意で集まったものであることとお伝えしてから、参加者に素材を一通り見てもらいました。

そしていよいよ自由創造制作開始! 興

味ある素材を手にとってあれこれとアイデアをふくらませながら、会場を歩き回る子どももいれば、気に入った素材を取り取らず席に持ち帰って、じっくりつくりたいもの考える子どももいたり。どちらにせよ、加えるべき素材や画材を親子で探したり、道具の使い方をマスターに教えてもらったりする参加者で会場はごったがえしながらも活力あふれる創造の場となっていました。

子どもたちプラス大人1人は雑然とした賑わいの中でリラックスし、思い付くままにピュアな作品をつくってくれました。ことさら作品の完成度は問わず、子どもの主体的な表現欲求による制作姿勢を尊いものと考えます。ワークショップの終盤、「アートの素・パントリー」ならではの「参加者に必要な素材を持ち帰ってもらう」ということも、それぞれがお家でもつくりたい素材と量を選び取る感じで、スムーズに運びました。素材と子どもたちの出会いの場をつくったことはよかったですと感じました。この一連のアート活動は継続を目指しています。



\*1



「アートの素」マスター達



\*2



\*3

活力あふれる会場



\*5

\*6



\*7

完成した作品



収集した「アートの素」の一部



\*8

\*1~8 撮影:中村元

最後に全員集合